

衆議院法務委員会ニュース

平成 25.11.5 第 185 回国会第 4 号

11 月 5 日（火）、第 4 回の委員会が開かれました。

1 自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律案（内閣提出、第 183 回国会閣法第 52 号）

- ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成－自民、民主、維新、公明、みんな、鈴木貴子君（無）、西村眞悟君（無））
- ・吉野正芳君外 4 名（自民、民主、維新、公明、みんな）から提出された附帯決議案について、階猛君（民主）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。
（賛成－自民、民主、維新、公明、みんな 鈴木貴子君（無）、西村眞悟君（無））

2 裁判所の司法行政、法務行政及び検察行政、国内治安、人権擁護に関する件

- ・谷垣法務大臣、奥野法務副大臣、平口法務大臣政務官、政府参考人及び最高裁判所当局に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

門 博文君（自民）

- ・法務行政に対する法務副大臣及び法務大臣政務官の意気込みを伺いたい。
- ・訪日外国人旅行者数の概要及び訪日外国人旅行者についてどのような統計が整理されているか、伺いたい。
- ・観光立国に向けた法務省の取組について、法務大臣に伺いたい。
- ・再犯防止について、法務大臣の所感を伺いたい。
- ・女子刑務所で働く女性刑務官の過酷な勤務実態に対する処遇改善の内容について、伺いたい。

郡 和子君（民主）

- ・2009 年の入管法改正時の附帯決議を踏まえ、外国人研修・技能実習制度の見直しによる不適正事案の一扫及び技能実習生の保護強化がなされないまま技能実習期間の延長を進めるのは認められないと思うが、見解を伺いたい。
- ・児童が家族から分離されない権利を規定している子どもの権利条約第 9 条の 1 については、出入国管理法に基づく強制送還の場合には適用されるものではないとの日本政府の同条約の解釈宣言を見直すことについて、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・本年 7 月に、75 人がチャーター機で集団送還された事案に関して、送還が人道的に配慮して行われたものと考えているのか、法務大臣の見解を伺いたい。

田嶋 要君（民主）

- ・受刑者の国民年金保険料の免除申請について、どのような取組を行ってきたのか、進捗状況を伺いたい。また、今後の取組について、期限と目標を定めているのか、伺いたい。
- ・法務省において、本年 5 月に保護観察対象者の少年を雇用したが、現在の状況について伺いたい。また、他省庁における雇用の見通し、地方公共団体における雇用状況を伺いたい。
- ・協力雇用主制度において、大企業の協力雇用主数及び実際に刑務所出所者等を雇用している大企業の雇用主数が少ない現状について、法務大臣の認識を伺いたい。
- ・CSR（企業の社会的責任）の観点からも、大企業における刑務所出所者等の雇用に積極的に取り組む必要があると考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・再犯防止に向けた対策において、刑務所等の中における生活と刑務所等を出た後の生活のギャップと、刑期と更生に必要な期間のギャップを解消する施策が必要であると考え、法務大臣の見解を伺いたい。

林 原 由 佳君（維新）

- ・全国の地方検察庁において、ストーカー規制法違反や性犯罪事件に係る、起訴状中の被害者氏名の匿名化等、被害者保護についての特別な措置についてどのような事例があるのか伺いたい。
- ・最高検察庁及び最高裁判所当局において、起訴状や判決文等の記載に係る犯罪被害者の匿名化についての統一指針を作成しているか否かについて、伺いたい。
- ・司法研究所の特別研究会では、被害者氏名の匿名化に関して、裁判官や弁護士に対してまで匿名にすべきなのか、

刑事訴訟法上の問題点は何かなどについて、どのような議論が出たのか、伺いたい。

- ・起訴状等への被害者氏名の記載については、現場の運用等も踏まえて法制化も必要になってくると考えるが、この点をどのように考えるか、法務大臣の見解を伺いたい。

西 田 讓君（維新）

- ・米ニューヨーク州のホロコースト記念館において旧日本軍の従軍慰安婦の特別展示館が設置されるとの話があるが、ホロコーストと従軍慰安婦を同列に扱うことについて、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・集団殺害罪の防止及び処罰に関する条約（ジェノサイド条約）の批准に向けて、外務省から法務省に対して国内法の整備に関する検討の要請があったのか否かについて、伺いたい。
- ・ジェノサイド条約の早期批准を目指し、外務省と協議して国内法の整備を進めるべきと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。

椎 名 毅君（みんな）

- ・外国人技能実習生の受入れ機関である実習実施機関による労働関係法令違反等の不正を防止するための取組について、伺いたい。

3 裁判官の配偶者同行休業に関する法律案（内閣提出第12号）

- ・谷垣法務大臣から提案理由の説明を聴取しました。

- ・技能実習生の送出し機関の不正を防止するための対策について伺いたい。

- ・技能実習制度に替わる新たな在留資格の創設等により労働者として外国人を受入れることを積極的に検討すべきと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。

鈴 木 貴 子君（無）

- ・10月30日の本委員会において谷垣法務大臣が再審制度は三審制の例外で非常救済手段だと答弁した趣旨及びいわゆるえん罪が生じる原因について、法務大臣の見解を伺いたい。

- ・「刑事訴訟法479条に関する質問主意書（第183回国会質問131号）」に記載した死刑確定者の精神状態に関する意見書等を見た後に、法務大臣が行った指示等の有無について伺いたい。また、刑事訴訟法第479条第1項の精神喪失の場合の死刑執行の停止は法務大臣の権限で行えることとなっているが、この執行停止について、法務大臣の見解を伺いたい。

- ・刑事施設内において被収容者が面会を拒否して鑑定に必要な面会ができない場合に当人に係る成年後見制度はどのように利用すればよいのか、伺いたい。また、面会拒否により成年後見制度が利用できないということであれば人権上問題とならないのか、見解を伺いたい。